

1.参加の動機

ABDの体験を通して、「たった一つを変えるだけ」という本を少しだけ読む機会があり、質問づくりの考え方・ワークに興味がありました。そして、以下の3つの点について得たいと考え、今回参加させていただきました。

- ①自分自身、将来教員を目指しておりますので生徒の考えや気持ちをうまく引き出せるような質問の作り方・選択の仕方を学びたい。
- ②生徒自身が質問づくりを通して、より深く物事に対して考えたり、問題意識を養うためのスキルを学びたい。
- ③このような場集まる、さまざまな方とともに議論することで新たな発見や学びを得たい。

2.講座を通して学んだこと、自身の変化

疑問・質問ということが、学びの根本であり、主体的な学びに必要な要素なのだということに改めて感じました。疑問を持たせる、質問する際に目的を意識して優先順位をつける、自分でその疑問を解決しようとするという活動は最初からうまくいくものではないということなので、しっかりと自分自身で質問づくりの訓練を積んでいき教えられるようになりたいと感じています。

変化としては、自分自身だんだんとファシリテーションや話し合いをする際の考え方が身についてきたと感じています。今回もさまざまな方々と議論する場面が多かったのですが、自分自身の意見を素直に・安心感を持って表現することができていたし、話している人の意見を自分なりに解釈するのではなく、話している人の意図・ニュアンスをできる限りくみ取ろうと意識できてきたため今回の講座で小さな一歩が踏み出せたのではないかと思います。

3.今後やってみたいこと

まずは、質問づくりに自分自身が慣れたいと感じています。したがって、しっかりと時間を作って本を読み、疑問を持つ・疑問に優先順位をつけるという訓練を日ごろから意識して行っていきたいと思っています。

また、教員になった際、どのような場面でこの考え方を活用できるかなども日々検討できたらと思っています。

4.その他、感想など

今回も行ってみて様々な発見がありました。今後も自分の興味を持ったことには積極的に

足を動かして参加してみたいと改めて感じました。次回も楽しみにしています。